

ラジオドラマ用オリジナルシナリオ

One Shot Story Series

# 「離婚式」

作・牛

## 《キャスト紹介》

男性客	・・・	30代前後。 ごく普通の男。
女性客	・・・	30代前後。 本質はキャリアウーマン。
マスター	・・・	女性バーテンダー。

## 《 舞 台 》

港が近くにあるBAR「サンドリオン」。  
店内には常にジャズが流れている。

(PLAY-1)

S E ドアの開閉の音

マスター：いらしゃいませ。

女性客：こんばんわ、お久しぶりです。  
ギムレット貰えますか。

マスター：はい、かしこまりました。

S E カクテルを作る音

マスター：どうぞ。

女性客：マスター、これ見てもらえますか。

S E 紙袋から何かを取出す音

マスター：まあ、素敵なオルゴールですね。  
1つ、2つ、3つ、4つ…

女性客：主人からの贈物なんです、毎年結婚記念日に。

マスター：やっぱりお優しい方でしたね。

女性客：結婚前はよくここをデートの場所に使わせてもらったり、  
マスターにはよく相談にも乗ってもらった。

マスター：懐かしいですね。

女性客 : このオルゴールの曲を聞けば、その年をどんな風に  
過ごしたかって思い出すんです。

マスター : 思い出をオルゴールの曲に込めていく…

女性客 : 本当に不思議なもので、そのときの感情が蘇ってくるの。  
嬉しかったこと、傷ついたこと、嫌なことも全部。

マスター : ひょとして、今日その思い出のオルゴールがもう1つ増える日？

女性客 : ううん、違うのマスター。  
もうオルゴールは増えません。

マスター : 増えない、のですか。

女性客 : はい。

## (PLAY-2)

女性客 : 私達離婚するんです。

マスター : ご冗談を…

女性客 : 本当です。もう決まりました。  
もうすぐ彼もここへ来ます。

マスター : うまく行かなかったのですか？

女性客 : 結果的にはそうですね

マスター : 4年でしたね。

女性客 : そうね、ここでマスターにお祝いだって

シャンパン開けてもらったのが昨日みたい。

マスター：理由は何ですか。もし差障り無ければ。

女性客：マスターには彼と付合っていた頃からお世話になって  
いるんだから何でもお話しします。  
具体的な理由は彼の不倫と、私の仕事への執着、かな。

マスター：まさか彼が浮気を？

女性客：はい、考えられないことだったわ。  
傷つき、相手の女性を恨み、彼を罵った、まるで絵に書いたように。  
人生って本当にまさかあるのね。  
まさか自分が浮気されるって…

マスター：察します。

女性客：泥沼な時期は3ヵ月くらい続いた。  
そんなとき又まさかが起きたんです。

マスター：何ですか？

女性客：私にニューヨーク行きの話が来たの。  
会社で私の努力が認められてデザインの勉強がてらに行って  
来いって。デザインの本場での仕事は私の念願の夢だった。  
天にも昇る様で、これまでの家庭のいらいらが吹飛んじやった。

マスター：いろいろあったのですね。

女性客：地獄と天国を味わって、  
私は冷静に彼との状況を見れるようになり、それで思ったんです。

マスター：どんなふうに？

女性客：私、彼を本当に愛しているんだろうかって。

マスター：それで？

女性客：考えた末の答えは、ノーでした。

(PLAY-3)

SE ドアの開閉の音

マスター：いらしゃいませ。

男性客：こんばんわマスター。  
いつもの下さい。

マスター：かしこまりました。

女性客：今、マスターにいきさつを話していたところ。

男性客：で、いきさつはどの辺りまで行ったの？

女性客：あなたを愛していないという処まで。

男性客：いきなりキツイなあ。

マスター：どうぞ。

男性客：早く酔わないと話しについて行けそうにないな。

女性客：それから私達、可能な限り時間を取って話し合いました。  
お互いのこと、考え方や人生哲学ぽいことまで、ね。

男性客：ああ、あんなに話した事はこれまで無かったな。

女性客：でも最後に話し合えて良かったと思う。  
もし私が怒り狂ったまま別れてたんじゃ二人で過ごした時間が

死んじゃう。

マスター：もう本当に別れるのですね。

男性客：うん、二人で決めたんだよマスター。ほら、これ。

マスター：離婚届…

男性客：今日ここで二人で署名します。  
どうか証人となって下さいマスター。  
お願いします。

マスター：悲しい立会人ですね私は。

女性客：ううん、そんな風には考えないでマスター。  
これまでは私達は同じ道を来たけど、  
これからは別の道を歩いていただけなの。

男性客：今日ここで僕達二人の夫婦としての関係を完結させたいんだ。

マスター：完結…

女性客：二人で話し合った結果、始まりがあれば終わりは必ずある。

男性客：終わりがある方が自然だって。

女性客：だから今日は離婚式なの。

マスター：離婚式？

男性客：彼女の提案で、結婚の完結は離婚式。

(PLAY-4)

マスター：離婚式ですか…

男性客：まああまり馴染みではない言葉だけど。

女性客：そりゃそうよ私達が作ったんだもの。

男性客：そうだな。

マスター：でも、本当に別れていく二人には見えません。

女性客：離婚が一番多いのは結婚後4年目なんですって、  
知ってたマスター？

マスター：いいえ。

男性客：それはどうも動物の特性のようなものなんだって。

女性客：どういうことかというとな、  
原始時代男女が結婚して子供を産んで、  
その子供が成長して群れの一員になれるのがほぼ4年。

男性客：それと恋愛感情の平均持続時間はほぼ2年で、  
その後は脳内で鎮静作用が起こり、感情は次第に冷めていく。

マスター：歴史的見地と科学的見地からですか？

女性客：男性の浮気は、適者生存の法則なんですって。  
強い良い子孫を残ようと。  
考えてみれば、男性の浮気は多いっていわれるけど  
その相手をするのは女性ですもんね。  
だからまんざら男性だけの本能とは言えない気もする。

男性客：あと統計的に見て経済的に依存していない男女の方が  
離婚率ははるかに高いらしい。  
ちなみに僕のパートナーは優秀なデザイナー。

女性客 : 私が結婚後普通の主婦になっていたら、  
展開は違っていただわよね。

男性客 : いや、僕は好きなものに打ち込んでキラキラしている  
おまえに惚れたんだ。  
普通だったらプロポーズしていない。

女性客 : ありがとう。

男性客 : 僕の方こそ。

マスター : 素敵ですね、別れ際「ありがとう」と言える二人。

男性客 : でも、統計とか人間としての本性的に僕達は  
意味付けしてきたけど僕はそれだけじゃないようにも最近思うんだ。

女性客 : 他に何かしら。

男性客 : それは…

#### (PLAY-5)

男性客 : お互い相手から学び終えたから。

女性客 : 私から何を学んだの？

男性客 : 好きなことに夢中になる姿勢かな。  
そして努力を継続していると夢はいつか現実となる。

女性客 : ゆめを手に入れるとき、  
それと同等の大切なものを失うかもしれない。  
あなたという良き理解者。  
これから先そのことをつくづく考えさせられると思う。



マスター：お互い学び終えたのですね。

男性客：そう、人は人から学び。

学び終えたら自然と離れていくものじゃないかと…

縁が無い人とは人生で決して巡り合わない。

縁があったからこそ出会い、そして学び合い縁が終わった。

マスター：縁が終わった…

女性客：いい表現ね。ちょっと寂しいけど。

男性客：うん。

少しの間

女性客：ここに後印鑑を押すのね。

男性客：うん。

女性客：出来たわ。マスター見て、私達の離婚届よ。

マスター：見とどけました。

女性客：ありがとう、マスター。

男性客：ありがとう。

女性客：最後に握手しましょ。

男性客：うん。

女性客：思い出をありがとう。

男性客：僕の方こそ楽しかった…なあ…

女性客 : ん？

男性客 : 次はどんな男に惚れる？

女性客 : そうね…たぶん、あなたみたいな人。

男性客 : そうか、グッバイ。

女性客 : さようなら。

マスターも、お元気で、さようなら。

マスター : さようなら、ありがとうございました。

SE ドアの開閉の音

マスター : 最後まで素敵な方でしたね。

男性客 : うん…マスター。

マスター : はい？

男性客 : 1杯だけ、付合ってもらえませんか。  
僕達の最後の夜に。

マスター : はい、いただきます。

おわり